

山形県身体障がい者保養所「東紅苑」の整備計画策定へ

齋藤県議の質問に県が答弁



- ・傾斜のきつい玄関スロープの改修などバリアフリー化
- ・機能訓練室や脱衣所への冷暖房整備
- ・トイレのプライバシー確保

山形県がひがしね温泉内に設置している「東紅苑」について、施設の老朽化対策と利便性の向上を要望する声を受け



一時的な修繕ではなく、施設改修に向けた計画的な整備方針を求める。

一般質問に県は



老朽化対策に向けて、調査を開始する。

前向きな答弁を引き出しました。



(その後、厚生環境常任委員会にて)
調査後の具体的な整備計画を検討し、事業化を早急に検討するべき。

政策提案に対し県は



調査をもとに来年度前半に整備計画を策定し、予算化を目指す。

具体的な方針を示しました。

さいとう俊一郎 議会等での役割

- ・会派 県政クラブ(会派協議会世話人)
- ・委員会等 議会運営委員会 委員
厚生環境常任委員会 委員
デジタル化推進協議会 副座長
- ・議員連盟 スポーツ振興議員連盟事務局 次長

県政へのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください!

山形県議会議員 さいとう俊一郎事務所

<http://saitou-s.jp/>

〒999-3773 山形県東根市島大堀255
TEL・FAX (0237) 42-2154
E-mail : saitou21passion@gmail.com



公立病院の経営支援



厳しい病院経営を支援する国の病床数適正化支援事業の申請結果と早急な交付金の手続きを要します。



1床当たり約410万円が支給される当交付金は、公立病院分となる本県の二次申請病床数は、北村山公立病院をはじめ48床です。第一次内示分を合わせると、計183床分に対して約7億円超が交付される予定で、迅速に支給されるよう万全を尽くします。

児童虐待防止対策の強化を



本県でも高止まりが続く、児童虐待の現状は。



国に報告した令和和6年度の件数は643件となっており、令和5年度の確定値739件から減少しています。



児童数の減少を加味すると、以前、高止まりしており、社会全体として、児童虐待を防止する取り組みが重要です。
東根市における取り組みを参考にし、支援を強化するべきでは。



NPO法人クリエイトひがしねによる「オレンジリボンフェスティバル」を参考にし、市町村や関係団体の取り組み支援を検討していきます。

※「オレンジリボン運動」は、子ども虐待防止のシンボルマークです。



山形県議会議員

さいとう俊一郎 県議会レポート



◀9月26日県議会
一般質問

重要事業を前へ 「北村山公立病院・さくらんぼ・山形空港」

県民、市民の皆さんには、いつもお世話になり有り難うございます。

県議会9月定例会において一般質問に臨ませていただき、吉村知事や折原副知事に対し、県政発展に向けた質疑や政策の提案を行わせていただきました。

北村山公立病院に対して、来年度さらなる医師の確保を強く求め、県による支援や経営に参画する「新たな医療の仕組み」に向けた「吉村知事の政治決断」を迫る質問をし、将来を見据えた政策を提案しました。

さらに、滑走路延長をはじめとする山形空港の「将来ビジョンの策定」や、気候変動による不作が続くさくらんぼの「早生品種開発の強化」「やまがた紅王の出荷変更」「農業機械や施設整備への強化」について新たな政策を提案しております。

これからも、県民、市民の皆様の幸せのために、新たな発想力で将来を展望し、県政与党の立場から東根発「あつたかい県政との架け橋」として、知事と二人三脚で全力を尽くします。

季節の変わり目につき、どうかお身体ご自愛ください、これからもご指導ご声援を賜りますようお願い申し上げます。



山形県議会議員

齋藤 俊一郎

主な内容

9月26日の一般質問は、芸術文化の振興から詩吟にて政治信条を述べさせていただき、続いて、吉村知事、折原副知事など県執行部に対し、「市民・県民の声」を政策にかえて提案し、実現を迫りました。

北村山地域の持続可能な医療提供体制の確保

斎藤県議 北村山公立病院を含む北村山地域における、持続可能な医療提供体制の確保に向け、医師確保や病院経営の安定化に向けた県の経営参画や病院への支援など知事の政治判断をお聞きします。

知事 北村山地域を県独自で医師少数スポットに指定し対策を強化しています。私が会長を務める地域医療対策協議会にて来年度、北村山公立病院への医師を新たに配置することを決めました。北村山公立病院への支援については、県がオブザーバーとして参加している検討委員会にて助言をし、支援の在り方を引き続き検討していきます。

山形空港の機能強化

斎藤県議

折原副知事

斎藤県議

みらい企画創造部長

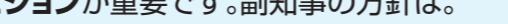
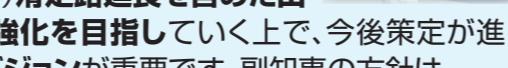
(先に滑走路延長を予定する札幌市の丘珠空港の事例を示しながら)滑走路延長を含めた山形空港の機能強化を目指していく上で、今後策定が進められる将来ビジョンが重要です。副知事の方針は。

将来ビジョン策定に向けて、新たな検討組織を立ち上げます。

第7次空港整備計画にて滑走路延長が決定した5空港と特定地方空港に指定されている5空港の内、山形空港のみが滑走路2000メートルという状況です。これらを踏まえ、山形空港の滑走路延長を検討していきます。

名古屋便が一往復と減便となる。航空ネットワークの維持・拡大に向けた、航空貨物輸送の拡大など新たな取り組みが必要と考えます。

名古屋便が減便する見通しのなか、運航するフジドリームエアラインズ側から航空貨物の輸送やインバウンド取り込みへの協力依頼がありました。今後、航空会社などと連携した貨物輸送を新たに検討します。



さくらんぼ栽培200年へ

やまがた紅王の課題と高温に強い新品種の開発



斎藤県議

農林水産部長

斎藤県議

農林水産部長

「やまがた紅王」は、L階級以下は、紅王の名前で出荷できず、また、出荷の方法や認知度など課題が多く見直しが必要です。高温に対応した「さくらんぼの新たな早生品種の開発」を強化する方針が必要です。

やまがた紅王は、生産量が伸びている一方、県内外での知名度向上が課題です。大きさがL階級以下を「山形C12号」として販売しているが、市場関係者から「名前が良くないため売れない」との声が多く聞かれ、来年の出荷時期までにダイヤパックなどの出荷方法も含め見直しを検討します。

気候変動に適応した無加温ハウス栽培の施設整備支援

気候変動に適応した栽培技術手法の導入を進めるため、無加温ハウス整備に向けた、効果の周知や更なる施設整備の支援策を市町村と協調して実施することを検討するべきでは。

無加温ハウスによる栽培は、高温の影響を受けて効果があります。ハウスの整備費が高額なことが課題のため、既存ハウスの改修など含め、無加温ハウスへの整備支援の在り方を研究します。

戦後80年。

公設平和資料室の設置

斎藤県議

戦後80年の節目を迎え、戦争体験継承の最後のタイミングと述べられた知事の想い、そして、未来の世代に平和や歴史を繋いでいくための公設平和資料室の設置に向けた知事の方針を伺います。

知事

斎藤県議

地域福祉推進課長

平和を後世に継承していくことは極めて重要です。戦後80年を迎えた節目を大切にし、まずは、県内の戦争に関する資料や記録の収集を行います。その後、保存や展示についての手法を検討していきます。

知事が答弁した「資料の収集と保存」を進めていくための今後の方針は。

他県の公設資料館や資料室を活用した取り組みを参考にし、山形県としての手法を検討していきます。

令和7年 夏秋 活動の成果 ー あったかい県政との架け橋ー

熊対策

出没予防事業 河川の「やぶ払い整備」を実現

クマ出没が相次ぐ空港周辺の河川整備に向けた地元要望。山形空港周辺の県管理河川「村山野川」のやぶ払いを9月に実施。

Before



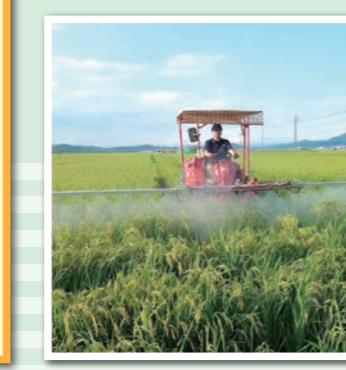
After



農業振興

水稻防除と稲刈り

中山間地でのつや姫栽培の拡大を提案中。



▲東根市東郷地区
◀東根市長瀬地区

地域活性化

東根市内の夏祭り

地域の声を伺う大切な機会。祭りと観光による政策を提案。



▲東根市長瀬地区
盆踊り
◀ひがしね祭り

芸術文化の振興

書道、詩吟やそば文化の伝承

芸術文化の発表の機会創出や県産そばの品種開発へ向けた支援の強化を。



▲豊葦原匠の会
◀大けやき
全国書道絵画展
協力出品

厚生環境常任委員会

現地調査

所属する厚生環境常任委員会による先端医療分野などの現地調査を九州地方において実施。今後の政策立案に活かします。

